

# トヨタ流モノづくりの基本と実践

基礎コース

モノづくりの基本は、お客様に「良いモノを・安く・タイムリー」に提供することです。トヨタ流モノづくりは、現場に存在する様々な「ムダ」を見つけ、徹底的に排除することで、製造原価を引き下げ、強い現場が生まれます。

現場をじっくり観ることで「ムダ」に気づき、その「ムダ」を知恵と実践で排除することで現場が変わり、また新たな「ムダ」が見えてきます。この繰り返しが活力ある現場と人を育てます。本講座でトヨタ流モノづくりの基本と実践をやさしく解説します。

対象	ものづくり現場のリーダー (中核人材)の皆様 経験年数5~10年程度
定員	30名
時間	9:30~16:30 6時間 (9:00から受付)
日程	平成27年 6月25日(木)
会場	岐阜工業高等専門学校 図書館 多目的ホール

## 研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度(フォローアップ)を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。(有料)

## 講師紹介

大岩 光司

## プログラム

### 1. モノづくりとは

- 1 モノづくりは人を育てる
- 2 トヨタ流モノづくりの原点

### 2. トヨタ流モノづくりの2本柱

- 1 ジャスト・イン・タイム
  - ・工程の整流化とリードタイムの短縮
  - ・トヨタ式標準作業とタクトタイム [演習]
  - ・後工程引取りの原則
- 2 自動化
  - ・ニンベンの付いた自動化
  - ・異常で止まるラインづくり
  - ・後工程はお客様

### 3. ムダの着眼点は7つ

- 1 造り過ぎは新たなムダを生む
- 2 手待ちのムダの見える化
- 3 在庫は問題を隠してしまう
- 4 運搬は付加価値のない作業
- 5 疲労の敵は動作のムダ
- 6 加工作業そのもののムダ
- 7 原価を高める不良・手直しのムダ

### 4. ムダ取りの実践

- 1 現場を観る・事実を観る
- 2 見る目を養うビデオ観察
- 3 「すぐやってみる」が次の改善を生む
- 4 やる気と知恵で現場を変える

大手自動車会社の工場部門にて35年余りにわたり、製造技術と現場・工場マネジメント業務に従事。その間、トヨタ生産方式をベースに生産・品質・原価・安全・人材育成などモノづくり・人づくりに豊富な実践経験を持つ。2009年8月よりモノづくり支援アドバイザーとして独立。現場改善・人材育成・マネジメント指導など現場モノづくりを重点に支援中。